計画停電に伴う装置の運転・停止操作について

●環境試験装置

環境試験装置は、停電から復電した際の装置動作を選択する機能を標準装備（※旧型製品を除く）しています。ご利用方法に合わせて装置動作の選択を設定してください。

＜停電後の動作選択機能＞

装置設定機能の運転制御設定機能にて設定します。

「停電動作」選択　停止 …復電後、装置は停止状態を維持します。

継続 …復電後、装置は停電前の運転状態を継続します。

「停電動作」選択にあたっては、下記＜注意事項＞をご理解いただき、取扱説明書をご参照の上、設定願います。

＜注意事項＞

(1) 原則として停電動作は「停止」設定にしてください。「継続」設定は、緊急的、突発的な停電に備えるために設けております。装置への供給電源の投入・遮断で運転・停止を行うためのものではございません。

(2) あらかじめ停電が決まっている場合には、事前に装置を停止してください。供給電源の遮断による装置停止を頻繁に行いますと、装置寿命に悪影響を与える場合があります。

(3) 顧客様のご都合で「継続」を選択する場合は、装置用の電源および冷却水源、エアー等が環境試験装置と同様に復電後の自動復帰運転機能を有するかを確認してください。 また、複数の装置が同時に起動する場合には、一次側電源の容量不足となる場合がありますので注意してください。

(4)停電中に試験装置の扉を開ける場合は、火傷・凍傷に注意してください。

以上より、

計画停電の場合は、停電動作の選択を「停止」設定にしていただき、停電の前にあらかじめ装置を停止してください。

※ 旧型製品…恒温恒湿槽、ヒートショック試験装置、恒温恒湿室の２型シリーズ以前の製品

（３型シリーズ以降の製品が標準装備の対象製品となります。）

なお旧型製品の場合も、計画停電時は、停電の前にあらかじめ装置を停止してください。

●超低温フリーザー

超低温フリーザーは、運転スイッチが ON 状態の場合、停電からの復電により自動的に運転を再開します。

＜注意事項＞

（1）フリーザー等を復数台ご使用している場合には、機器が同時に起動することで一次側電源の容量不足となり、電源ブレーカー作動等の不具合が発生する場合があります。このような不具合を回避するために以下の措置をお願いいたします。

・停電発生時…運転スイッチを OFF にしてください。

・停電復帰時…１台ずつ順番に運転スイッチを ON してください。

（2）あらかじめ停電が決まっている場合には、事前に装置を停止してください。供給電源の遮断による装置停止を頻繁に行いますと、装置寿命に悪影響を与える場合があります。

（3）復電後の運転スイッチ操作を忘れずに実施してください。

（4）停電中はドライアイス等による保冷を実施してください。なお、補助冷却装置を装備している場合でも、運転スイッチ OFF 中は補助冷却装置も作動しませんので、ドライアイス等による保冷を実施してください。